

横浜市営地下鉄徹底取材！ 交通局に行ってきた！



「新羽車両基地取材」

私たちジュニア記者は、夏休みに新羽車両基地に取材に行ってきました。新羽車両基地は、横浜市営地下鉄ブルーラインの車両基地です。ブルーラインの車両基地は、2つあります。1つは新羽と、もう1つは上永谷車両基地です。

まず私たちは、新羽車両基地の会議室で、交通局の方たちのお話を聞きました。総務課、施設課、建築課、営業課、とたくさんの方たちが、私たちの取材に対応してくださいました。お話を聞いたあと、交通局技術管理部新羽保守管理所の方の案内で、車両基地の見学をさせてもらいました。

横浜市交通局は、私達が普段の生活でよく使う地下鉄・バスを中心とした公共交通機関です。市営バス・地下鉄の1日の平均乗車人数は、バスが約33万人、電車は約64万人で、合計約97万人が利用しています。交通局では、1日100万人の人に利用してもらうことを目標にしているそうです。あと3万人の人が利用すれば、目標達成！すごい数の人たちが利用しているんですね。

グリーンラインの駅は、ステーションカラーを決めて、わかりやすくデザインされています。どうしてその色になったのかを聞いてみました。近隣の地域の意見を参考に（小学生も含む）、駅の特徴を把握した上で、小学生の使っている色鉛筆の色の中から、隣り合う駅で色覚障害者でも識別が可能な配列とする、などのくふうもし、決めたそうです。駅ごとの色は以下のとおりです。

＼グリーンライン ステーションカラー／

駅名	色	説明、イメージ
中山	青竹色	四季の森公園等、周辺の豊かな自然
川和町	露草色	鶴見川沿いの伸びやかな地勢と、駅が高架駅であることから、“空”
都筑ふれあいの丘	藤色	街としての成熟度が高いことから、“優雅さ・高級感”
センター南	空色	ショッピングモール等、都市機能が集積する副都心であることから、“都会的”
センター北	ベビーピンク	観覧車など、市民の人気スポットがあることから“かわいらしさ”
北山田	とうもろこし色	まちの持つ“南欧スタイル”
東山田	黄檗染	駅周辺の畑や果樹園等の豊かな“自然・大地”
高田	黄水仙	地域ケアプラザなど、地域住民の交流のさらなる活気を期待し“元気・楽しさ”
日吉本町	若葉色	背後に迫る小高い林など、身近な地域の緑
日吉	薔薇色	慶応義塾大学や商店街の“賑わいや活気”

また、ブルーラインは駅によって柱のデザインが違っていると聞き、私たちはすべての写真を撮ってきました。駅のトイレは、誰もが使いやすいユニバーサルデザインのトイレになっています。私たちは駅ごとにすべてのトイレに入ってみて、におい、きれいさなどについてチェックしてみました。が、思った以上にきれいで、いいにおいがする駅のトイレもありました。またすべての男女のトイレにベビーチェアがありました。

電車で大事なことは、駅だけではなく、線路も大事です。交通局では、月に4回、線路点検をしており、それを行うのがB-Track(軌道検測車)です。



点検方法は、レーザーを当て返ってくるまでの時間から、線路のゆがみを計算します。今回の取材で1番興味を持ったのは、B-Track(ビー・トラック)です。みなさん、B-Trackを知っていますか？B-Trackとは、保守車両の軌道検測車の愛称です。全国から、地下鉄保守車両の愛称を募集し、横浜市在住の10歳の男の子がつけた「B-Track」と



決まりました。BはブルーのB。運動会の時に、トラックの白線が真っ直ぐじゃないと自分のコースをうまく走れないからだろう。線路を正しく守る名前にぴったりですね。ちなみにグリーンラインの保守車両の愛称は、G-Track(グリーントラック)です。B-Trackは、走りながら、レールのゆがみや左右の高さの違いなど、6項目を同時に検査します。



私たちは特別に、B-Trackの中に入ることができました。中は少しせまいですが、前後に2つ運転台があります。何回も往復して調べることができるように、前後に2つの運転台があります。モニターでは、数ミリ単位でレールの状態を測定します。ずっとモニターを見て、異常がないか監視する仕事は、とても大変だと思いました。毎日、何百回も列車が通過するため、レールには少しずつゆがみが生まれます。安全運行のためには、日々の保守が不可欠です。しかし、B-Trackを見る機会がほとんどないかもしれません。なぜなら、B-Trackが働いているのは、いつも深夜なのです。

新羽車両基地の整備工場には、市営地下鉄最初の車両である1000形車両が保存されていました。この1000形車両は、1972年から2006年まで運行していました。今はもう使われていない1000形車両を見ることができ、ブルーラインの歴史を感じることができました。今活躍している3000形の運転席に入らせてもらい、貴重な体験をすることができました。



【交通局カルトクイズ！こたえ】①三ツ沢上町…三ツ沢上町は階段が134あります。二番目は高田121、三番目は三ツ沢下町110です。日吉本町は4番目に多く、91段でした。②「町」…仲町台、片倉町、三ツ沢上町、三ツ沢下町、高島町、桜木町、伊勢佐木長者町、吉野町、日吉本町、川和町全10駅あります。③上永谷と下永谷、三ツ沢上町と三ツ沢下町、

センター北とセンター南 ④1.中田(なかだ)と3.下飯田(しもいいた)です。高田は「たかた」とよみます。⑤3.9台です。⑥1.センター北 2.踊場です。…新幹線の新横浜駅は選ばれていますが地下鉄は対象になっていないそうです。【京急上大岡駅、J R桜木町駅、J R横浜駅、東急日吉駅(グリーンラインの駅ができる前)も関東の駅100選に選ばれています。いずれも地下鉄の駅は対象外です。】おまけ問題 弘明寺(ぐみょうじ)・蔦田(まいた)・新羽(にっぽ)

広告

住まいの情報館&モデルハウス&ドッグラン

housquare

横浜

Housquare Yokohama

より便利に 快適に!

新しく生まれ変わりました!

全てが集まる「多機能住宅展示場」

●キャラクターショー

●野外遊具イベント

●親子カルチャー講座

体験

「暮らし」を楽しむイベントが

いっぱい家族連れ向けだよ!

9.16/住まいの情報館

リニューアル

新築もリフォームも、

住まいづくりはハウスケア横浜で

相談

情報

三浦雄太郎監修ドッグラン

コンコパーク

最新のモデルハウスと住関連ショールームが夢の住まいを応援

〒224-001 横浜市都筑区中川1丁目4-1 ☎ 045-912-4110 地下鉄ブルーライン中川駅下車徒歩2分

広告

運動するならパレット中川!

今なら「ジュニアタイムズ見た」で500円体験受付中! 2018年4月末まで

子どもから大人まで幅広くご利用いただけるフィットネスクラブです。

スクールも充実しているので、上達も早く楽しいと間違いない!

まずは1度お試しください。詳しくは下記までお問い合わせください!

フィットネスハウスパレット中川

TEL 045-915-7702

営業時間:平日8:00~23:00、土曜9:30~21:00、日祝9:30~20:00

パレット中川

または右QRコードで検索

地下鉄ブルーライン中川駅から徒歩1分

広告

Shairly.cafe

シェアリーカフェ

横浜市営地下鉄ブルーライン中川駅から徒歩3分

横浜市都筑区中川1-4-1ハウスケア横浜1F

10~18時・水曜定休 ☎045-530-3990

http://shairly.com/ シェアリーカフェ

子育て世代の方から、様々なライフステージで活躍するシニアの方まで。

まちづくりNPO法人Loveつづきの運営するコミュニティカフェ

●コワーキングスペース ●イベントスペース(ワークショップ/講座/貸切パーティ)

●会員制主催の多種多様な講座 ●月間催しかフェマーケットetc.

出展料:3000円/月~

素敵な小物がいっぱい! シェアトリエで検索!

カフェ併設のレンタルボックスギャラリー

ハンドクラフト作品

PR展示場

出展者募集中!

シェアトリエ

Rental Box Gallery

ミニヨコ運営市民募集と

ミニヨコハマシティ開催のお知らせ

キミがいらないと

このまちは

はじまらない!

ミニヨコハマシティは、こどもがつくる、こどものまちです。大人人口出し禁止。

自由な発想でまちのしくみを考えたり、自分たちのお店をつくったり。

市長に立候補して、これからどんなまちにしたいかを考えたり。

現在の市長は、小学校6年生。副市長は中学2年生だよ。

小学1年生くらいから高校生までの運営市民がいます。

お店ができるようになるまで、大人スタッフが全力でサポートします。

こどもだけのまちをつくってみませんか?

運営市民を希望する人は

★お名前・学年

★連絡先(メールアドレス、住所、電話番号)

★参加できる日(2/18 3/11 3/30 3/31)

を書いて、以下まで応募してください。

minicityplus@gmail.com

045-306-9004(Tel&Fax)

★メール、FAXがない人は、シェアリーカフェ(横浜市営地下鉄中川駅徒歩3分・ハウスケア横浜1F)に必要事項を書いてメモを持参してください。

運営市民になれる人は……

★19歳以下のひとり(保護者なしで)参加できる人。

★すてきなまちを、みんなでなかよくつくってくれる人。

★都筑区内で行う事前の会議に1回以上参加できる人。

文章講座を行いました!

記者として取材をはじめの前に、坪田知己先生による、文章講座を行いました。

坪田先生は、日本経済新聞で新聞記者をされていました。

新聞記者のお仕事のお話とともに、心を動かす文章の書き方について教えてもらいました。

講座のあと、自分の好きなこと、好きな場所、などをテーマに30分くらいで文章を書きました。その中で、もっともよく書いていた安藤さんの作文を紹介します。

坪田先生からのひとこと

本の魅力をいろんな角度から書いていて、とてもいい作文です。「本は『持ちこべるテレビ』」としたのもわかりやすいです。

本は「持ちこべるテレビ」

横浜市立都筑小学校5年生 安藤 優衣

私の好きな物は、本です。理由は、私にとって本はテレビのような物だからです。開けばどこへでもいけます。

私は友だちと遊ぶよりも本を読んでいることがとても多い。

友だちと、どこかへでかけるのもいいのですが、現実の今はなかなかいけません。

今は夏だけ、雪で遊ぶ話を読めば冬に行った感じになります。昔々タイムスリップする本を読めば、主人公といっしょになって、その時代のことがとてもよくわかります。

このようにいろんな所へいっしょんでいけます。

そして本は文なので、自分で自由に考えることができます。

マンガだと、その絵にとらわれてしまうことが私にはよくあります。

本は自由に考えられる「テレビ」です。そして、共感したり、笑ったり泣いたり、まるで自分のことのように感じられるのでとても楽しい。そして、自分がいろんな子になれるのでいろんな人生が体験できるのでとても楽しい。

私にとって、本は「持ちこべるテレビ」です。

～私たちはつづきジュニアタイムズを応援しています!～

かながわ寄付 to カタログプロジェクトを通して、つづきジュニアタイムズ発行への寄付をいただいたみなさまです

ありがとうございました!!

第一フォーム株式会社

代表取締役 澁谷 正明

株式会社スリーハイ

代表取締役 男澤 誠

寺越新聞販売株式会社

寺越 満

かなりあ少年少女合唱団

代表 渡辺 麻衣

白鳥公彦、白鳥由紀子、梶村直治、福富洋一郎、金子進、堀田一牛、清田洋子、皆川康雄、富岡克之、小山紳一郎、下村幹夫、田中礼子、大塚宏、斎藤博子、相澤くるみ、藤島一広、若杉隆志、高橋純子、東恵子、木村格、佐藤成美、杉浦裕樹、五十嵐浩、須栗隆樹、治田友香、石田真美、谷本恵子、山下圭子、山家昌則、松本紀明、小川宏、篠崎健一、山路清貴、山田優子、八木千賀、内海宏、名和田彦、河西智美、花田真由子、谷口俊一、鈴木博明、井上高範、渡辺麻衣、岡本紀子、杉崎和久、山口良介、石井大一郎、薄井智洋、鈴木美美子、鈴木智香子、富山涉、森祐美子、阿部真紀、加々美マリ子、細川もなみ、根本浩典、根本真紀、瀬上倫弘、(株)太陽住建、吉原朋香、森祐美子、佐々木義明、まりねえ、薄井智洋、大庭友美、黒山幹太、岡本典子、仲倉正伸、百崎智子、岩室里江、三輪律江、平戸由美、杉山昇太、柳本薫、中聡美、岩室晶子、元木和子、他匿名で寄付していただいたみなさま ※敬称略、順不同